

令和 2年 1月24日

大淀川水系江川における水質事故対応について（第2報）

令和2年1月20日（月）、大淀川水系の支川江川において、重油流出事故が発生し、宮崎河川国道事務所や宮崎県では、事故対応を行っています。宮崎河川国道事務所では、大淀川との合流点にある江川水門のゲートを万が一に備えて閉鎖しています。

現在、バキューム処理、吸着マットによる油の回収、油の付着した土砂搬出を進めています。

○概要

1. 発生日時：令和2年1月20日（水）
11時半頃 J A宮崎中央職員が江川の流出を確認
2. 場所：宮崎市高岡町上倉永
大淀川水系大淀川一次支川江川（大淀川との合流地点から約3 km）
3. 事象：ビニールハウスのボイラー配管腐食により重油が流出（約4000L）
4. 流出量：河川への流出量は不明

○対応状況

1. オイルフェンス設置 江川にオイルフェンス 11箇所設置済。
バキューム処理、吸着マットにて流出した油を回収中。
大きな油の塊のバキューム処理については23日回収済。
本日は、河川水に含まれている油を吸着マットとバキュームにより継続して、吸着作業を行う。
2. 江川水門のゲート閉鎖 水門付近では、油膜は確認されていないが、大淀川への流出を防ぐため閉鎖中。
宮崎市上下水道局の要請により取水停止をできるだけ回避するため、昨日、水量の多い21時から水門を一時的に開け放流を実施。なお、その際は放流水質の確認を宮崎市上下水道局と行った。
3. 油の付着した土砂撤去 事故箇所の地上及び江川に流れ込む水路内土砂撤去済。
河川内の土砂は23日に撤去済。
4. 対応者等 国・県・市・上下水道局・消防・J A

○取水・環境への影響

宮崎市富吉浄水場は、一時取水を停止する可能性があるが、給水への影響はない。

○油処理対応完了の見込み

発生源や河川内の重油を含んだ土砂等は撤去済み。
今後は、引き続き河川内に残っている油をバキュームによる吸い出しや吸着マットにより回収を行うが、現時点で完了の見込みはたっていない。見込みがたち次第、情報提供を行う。

○ 大淀川水系水質汚濁防止対策連絡協議会
(事務局) 国土交通省宮崎河川国道事務所
TEL : 0985-24-8221 (代表)
副所長 岩崎 征弘 (内線204)
占用調整課 課長 日野 裕二 (内線341)

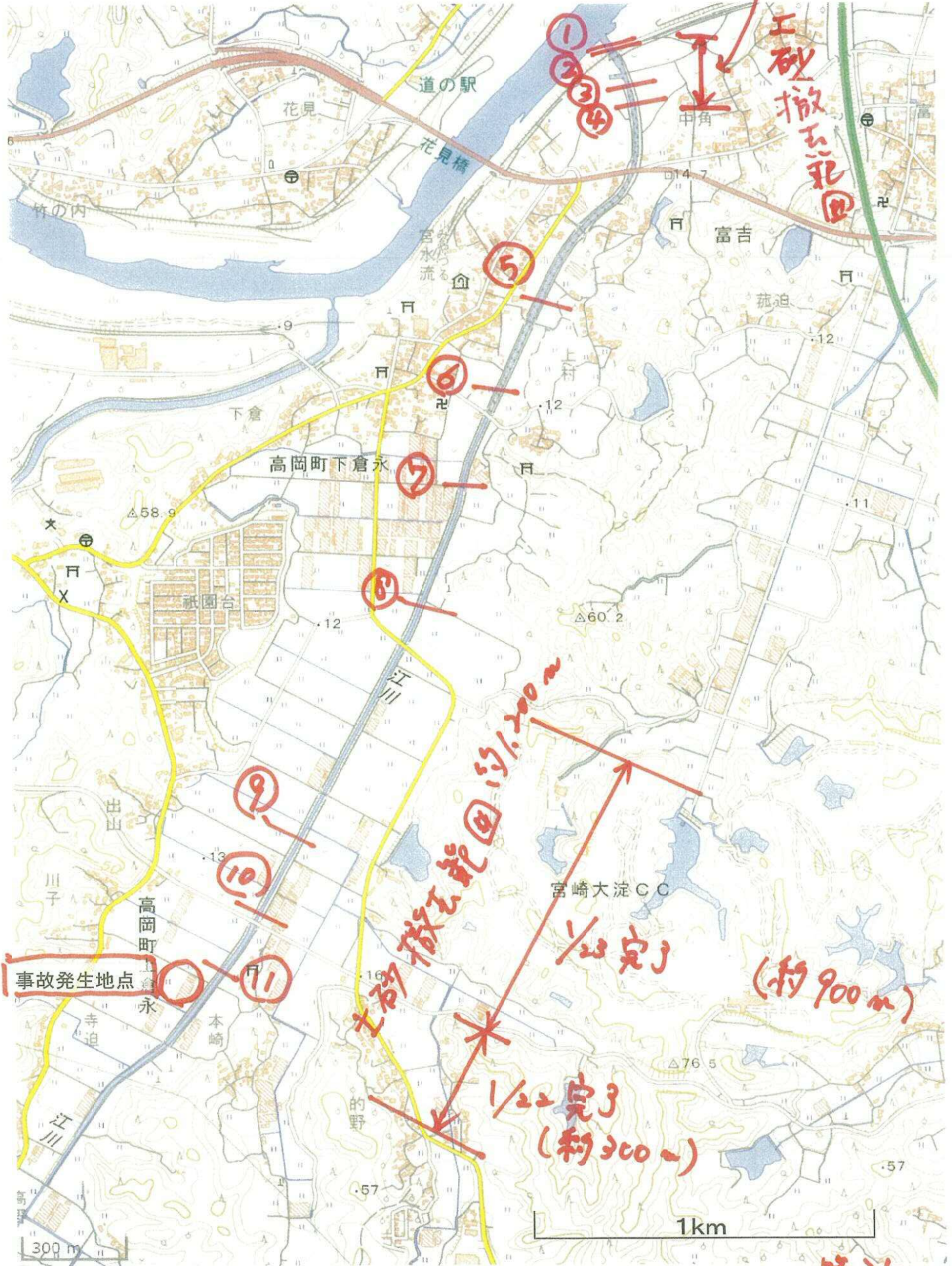
※問合わせ先

【水門付近での対応ほか全般：国土交通省宮崎河川国道事務所占用調整課】

【江川内での対応：宮崎県高岡土木事務所工務課 TEL0985-82-1155】

【水道の取水等について：宮崎市上下水道局水道部浄水課 TEL0985-47-5477】

江川油流出事故 写真位置図



○オイルフェンス箇所 (11箇所)



土砂撤去状況



油回収状況